

ここは、瀬戸内海の穏やかな気候と豊かな自然に恵まれた半島。石を切る音が活気よく響く四国本土最北端の石の町・庵治町です。最高級の花崗岩である「庵治石」が産出することで、古くから石材加工業が集積しており、日本三大石材産地の一つとして発展してきました。

「庵治石」とは、日本三大花崗岩の一つ。花崗岩は、細目（こまめ）、中目（ちゆうめ）、荒目（あらめ）に分類でき、庵治石は細目と中目に分類されます。きめ細かな模様細目になるほど貴重品とされ、磨くほどに光沢が増していくのが特徴です。「花崗岩のダイヤモンド」といわれるほど美しく、200年は変色したり、光沢がなくなったりしないといわれています。その質の良さから世界でも高く評価されている石材です。

また、庵治町は漁業の盛んな町でもあります。魚介類の宝庫となっている瀬戸内海からの漁獲量と生産額はともに、漁船漁業では県下屈指。漁業と石材業は、今も町を支える2大産業です。さらに、源平合戦ゆかりの地である「屋島」を間近に望む、平家の軍船の集結場「船かくし」をはじめとした多くの史跡が残っている歴史の町とされています。

最近では、映画「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケ地としても有名で、県内外から多くの人々が訪れる観光地にもなっています。「庵治石」のように美しい自然と、特徴ある地域産業を生かした庵治町には、そこでしか味わえない魅力がたくさん詰まっています。ご家族連れはもちろん恋人同士でも豊かな時間をお楽しみいただけます。



純愛の聖地庵治・観光交流館

〒761-0130 香川県高松市庵治町5824-4 TEL・FAX 087-871-1700

高松市庵治支所 (施設について)

〒761-0187 香川県高松市庵治町6393-5
TEL 087-871-3111 FAX 087-871-3115
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/3638.html>

高松市国際文化振興課 (作品について)

〒761-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号
TEL 087-839-2636 FAX 087-839-2015
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/642.html>

高松市立城岬公園 (施設について)

〒761-0130 香川県高松市庵治町新開6392-91
高松市国際文化振興課 (作品について)
〒761-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号
TEL 087-839-2636 FAX 087-839-2015
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/642.html>

純愛の聖地庵治・観光交流館

高松市庵治支所

高松市立城岬公園



大切な人との愛を確かめに。

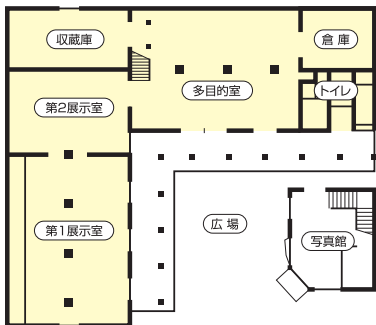
庵治の地域文化の継承と発展を図ることを目的とした施設。庵治町出身の作家による美術品を展示しているほか、映画「世界の中心で、愛をさけぶ」に使われたロケセット「雨平写真館」が復元。平成21年6月に庵治の産品などが購入できる物産館が併設されリニューアルオープン。



物産展示・販売コーナー

カフェコーナー

館内には地元産の海産物をはじめ、高松市の姉妹都市フランス・トゥール市の雑貨や地元の陶芸作家が手掛けた作品などの販売コーナーを開設しています。庵治町ならではのお土産物が手に入る人気スポット。また、庵治石を使った石彫作家の作品を紹介する展示室なども設置。



映画「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケで使われた写真館「雨平写真館」を復元した館内にはカフェがあり、庵治石を利用した石ひきコーヒーなどが味わえると人気です。座席は、写真館1、2階にカウンター席とテーブル席合わせて28席を用意。映画に出演した俳優らのサイン色紙などが展示されているので、映画の余韻に浸りながら、カフェタイムを満喫!

庵治の文化に出会える所。

平成8年春に完成した高松市庵治支所。第47回芸術選奨の新人賞を受賞した村上徹氏によって設計されました。庵治の産品でもある石材とガラスを使った個性的な建物からは、屋島や五剣山が見えとか。親しみやすくゆとりのある空間は、地元の人にも人気があるようです。



庵治町ゆかりの彫刻家・画家である三枝惣太郎の作品807点と、書道家・廣瀬富美の作品103点を南東2階常設展示場にて収蔵、その一部を展示。県内外の人にも庵治の文化と出会える場として利用されています。



三枝 惣太郎 作



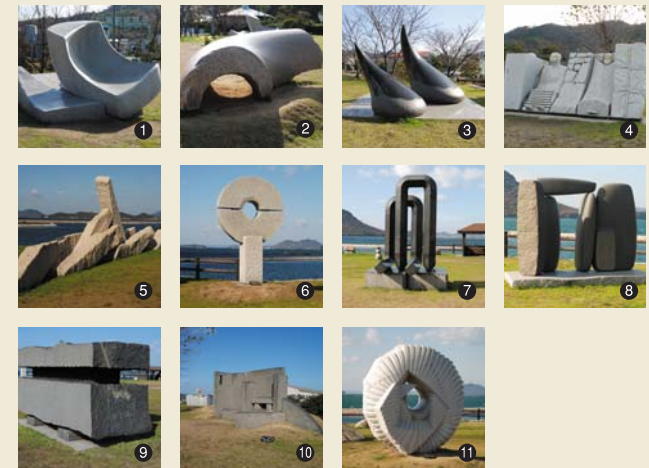
廣瀬 富美 作

自然とやすらぐ人気の名所。

穏やかな瀬戸内海に隣接し、西を望めば屋島が見える自然豊かな臨海公園。ここに続く「やすらぎの道」は、市道沿いに整備された緑道公園です。公園内には「純愛ロード」があり、愛の聖地・庵治町を象徴。また、庵治石の産地にふさわしく点在する石の彫刻も見応えあり。



公園内には、石の彫刻コンクール入賞作品等が数多く展示されています。向こうに広がる瀬戸内海を背景に、渾身の彫刻作品を眺めるひときは、ここでしか味わえない特別な時間。また、漁業が盛んな町でもあることから、本物の漁船が展示されているのもユニーク。遊具として改造されているだけでなく、操舵席には実際に座って舵をとることも。



- ①「追い風」近藤 隆
- ②「見つくせぬままに…」佐治 正大
- ③「やがて愛の風が吹いてくる」渋谷 吉昭
- ④「海に向かって(風になりたい沈黙)」鈴木武右衛門
- ⑤「遺石一億万年の海の底から」寺田 武弘
- ⑥「SUN DISC」Robert Sindorf
- ⑦「合掌」伊藤 正人
- ⑧「空間の記憶」竹内 淑浩
- ⑨「石の事」宮地 豊
- ⑩「古跡香」崔 召東
- ⑪「太陰歴 No.3」岩崎幸之助